

## Close Up

クローズアップ 自動車教習所

# 自動車教習所で進む 学科教習のオンライン化 24時間いつでもどこでも受講可能に

コロナ禍を契機に、指定自動車教習所(以下、教習所)では学科教習のオンライン化が進んでいる。2022年4月からオンライン学科教習を開始したレインボーモータースクール福岡(福岡県新宮町、以下RMS福岡)に、オンライン学科教習を導入した効果や課題についてうかがった。

## 教習生にとって利便性が高い 録画配信方式を採用

オンライン学科教習とは、インターネットを通じて受講する学科教習のこと。コロナ禍の2020年12月、警察庁がオンライン学科教習を認める通達を全国の警察に出したことによって、これを導入する教習所が増えている。

普通自動車免許を取得する際に必要な学科教習は26教程(1教程50分)。このうち、最初に受講する「運転者の心得」、実技を伴う「応急救護処置」、教習指導員と話し合う「危険予測ディスカッション」などを除いた21教程分をオンラインで実施することができる。

教習所以外の環境で受講できるオンライン学科教習には「ライブ配信方式」と「録画配信方式」という2つの方式がある。ライブ配信方式は、教習所などで指導員が実施している講義をリアルタイムで視聴する方法。録画配信方式は、あらかじめ制作した講義の動画を視聴する方法だ。

「録画配信方式は24時間いつでも都合の良い時に受講できることが大きな特長です」と、RMS福岡 教育課 課長 水上浩さんは教習生にとって利便性が高い録画配信方式を採用したという。

## 教習指導員だけで 配信用の動画を制作

オンライン学科教習で使用する動画は、シナリオづくりから撮影、映像の編集まで、すべてRMS福岡の教習指導員(以下、指導員)だけで制作したものだ。2~3教程分を制作したところでオンライン学科教習をスタート。2023年4月に21教程すべてが完成した。

「対面と違って、オンラインは私たちからの一方通行になります。受講しているお客さまの興味を引くコンテンツにしなければならぬ」と思いました。シナリオは、対面の学科教

習をベースに一からつくったものです。対面で使用している映像教材や、こちらからの問いかけなどを組み合わせて、お客さまの関心を高める工夫をしています。これらを50分の中に収めるための編集作業が最も苦労しました」と、制作の中心的な役割を担った教育課 大迫満里奈さんは振り返る。RMS福岡では、大迫さんら対面での学科教習を担当する指導員4名が動画に出演している。このうちの誰かが転勤または退職した場合、その指導員が出演している動画は使用できなくなり、別の指導員で作り直さなければならないと規定されているため、いつ指導員の異動があっても対応できるよう準備しているという。

## 教習生の受講態度を確認するため 受講中の姿を記録

教習生は自分のスマートフォンやパソコンからシステムにアクセスして動画を視聴する。ログイン時に、あらかじめ登録した顔写真と照合し本人確認を行うため、「なりすまし」はできません。「視聴時間に上限は設けていません。見たいだけ視聴することができます。ただし、各教程1回目の視聴時は早送りや一時停止はできません。オンラインと対面の併用も可能です」と水上さんは説明する。

視聴した動画に関して質問がある場合は質疑応答の画面にその内容を入力すると、指導員が回答。後日、それを確認できるようになっている。

オンライン学科教習においては、教習生の受講態度を確認することが教習所に義務づけられている。しかし、録画配信方式の場合、リアルタイムで確認することは不可能だ。そこで、教習生が使うスマートフォンなど視聴端末のカメラを通じて受講中の姿(顔)を記録(教習生側では受講中の自分の画像を確認できない)。記録した画像をシステム(AI)が学習に不適切な態度だと判断した場合、NG判定(下記参照)となる。

## NG判定となる例

- 1 受講者本人でない(他人、写真や動画など)
- 2 居眠り
- 3 食事(何かを食べながら)、喫煙
- 4 寝転びながら
- 5 移動中(車内NG・室内移動含む)、その他教習に不適切な状況
- 6 外出先(美容院等)
- 7 通信機器の不具合により動画が途中で途切れた場合
- 8 「教習の映像は終了しました」の表示が出る前にキャンセルボタンを押した場合

## オンライン学科教習で配信している動画の例

スマートフォンの画面でも内容がはっきりわかるように文字やイラストの大きさを調整している。画面の右上に、担当している教習指導員が映し出される。

### 1 信号の見かたと対応のしかた



前方(対面)の信号を見る  
横の信号が赤でも、  
前方が青とは限らない!



● スタート ● 目的地(レインボー)

### 経路設計③



レインボーモータースクール福岡 教育課 課長 水上浩さん(左)、同教育課 大迫満里奈さん(右)



Hondaグループの教習所として1981年に開設されたレインボーモータースクール福岡

このNG判定が一定回数カウントされると、動画を最初から視聴し直さなければいけない。さらにAIだけに頼らず後日、指導員も記録した画像をチェックしている。ここでNG判定となるケースもあるそうだ。「お客さまには教習所で受講する時と同じ態度で臨んでいただくよう願っています。自宅だからといって寝転んだり、飲食しながらの視聴は禁止です」と水上さんは話す。

## オンライン学科教習を 教習生の多くが利用

水上さんの実感値では教習生の約7割がオンライン学科教習、約2割が対面との併用で、対面の学科教習のみは約1割。教習生の多くがオンライン学科教習を利用していることがわかる。「若いお客さまを中心に好評です。受講態度の確認といった業務は増えましたが、学科教習に割り当てていた指導員を技能教習のほうに振り分けられるなど、オンライン学科教習の導入のメリットを感じています」。

大迫さんは「対面では顔を見て話すスピードを変えたり、補足説明をしたりできますが、それらがオンラインではできません。お客さまの反応が見えないので、私たちが伝えたいことを理解できているか、その場で確認できないもどかしさがあります。オンライン学科教習の導入で、夜の時間帯に対面の学科教習を実施することはなくなりました。対面の機会が減っていくことにはさびしさを感じます」という。

対面の機会が少なくなった分、マンツーマンで行っている技能教習の質をさらに上げる必要があると、水上さんは感じている。「一昔前の教習所には厳しいというイメージがあったと思いますが、私たちはお客さま一人ひとりに寄り添った指導を心がけています。そのお客さまが、どのようにしたら安全意識や運転技術が向上するか常に考え、指導に活かしているのです」。2026年度からは埼玉県和光市にあるレインボーモータースクール和光もオンライン学科教習を始めるなど、教習の風景が変わろうとしている。